

第2章

観光市場の動向

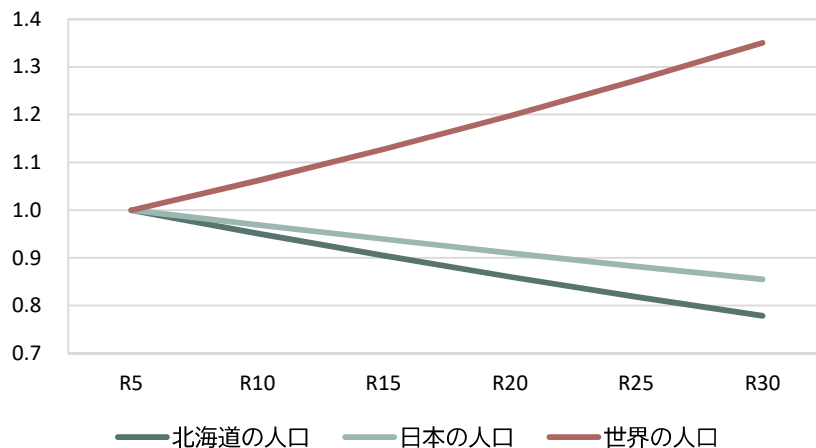
1 人口推移と国際観光市場の動向

世界の人口は増加することが予測されている一方、日本の人口は減少していくことが予測されており、日本人による国内観光需要は縮小していくと見込まれます。また、北海道の人口は、日本の人口より速いペースで減少することが予測されています。

UNWTO（国連世界観光機関）によると世界の国際観光客数は年々増加しており、令和元年（2019年）には14.7億人に達しました。その後、コロナ禍で一時的に減少していますが、令和12年（2030年）には18億人に達すると推計しています。

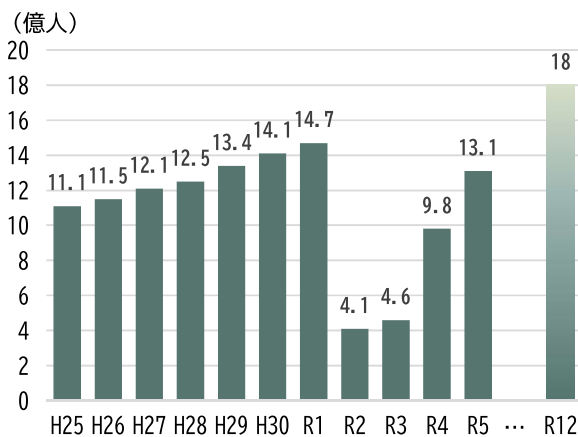
国内人口の減少を見据えると、外国人観光客を誘客することの重要性が増しています。

令和5年（2023年）を基準とした令和30年（2048年）までの世界・日本・北海道の人口増減率（倍）



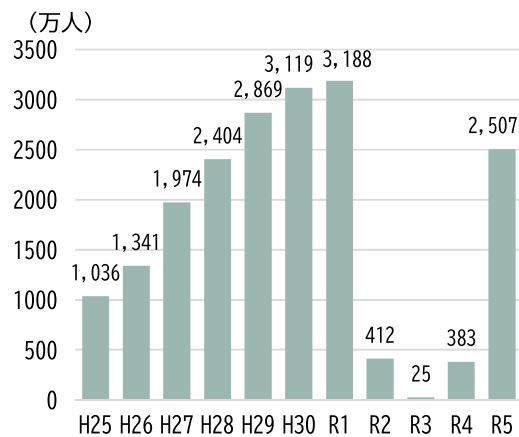
出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年（2023年）推計）」、UN「World Population Prospects:The 2024 Revision」
注記）令和5年度（2023年度）以降は、北海道及び日本の人口は、推計データより予測値を算出。世界の人口は、実測値データを用いて予測値を算出。

世界の国際観光客数の推移



出典：UNWTO「Tourism Highlights 2024 Edition」、JNTO「訪日外客統計」

延べ訪日外国人観光客数の推移



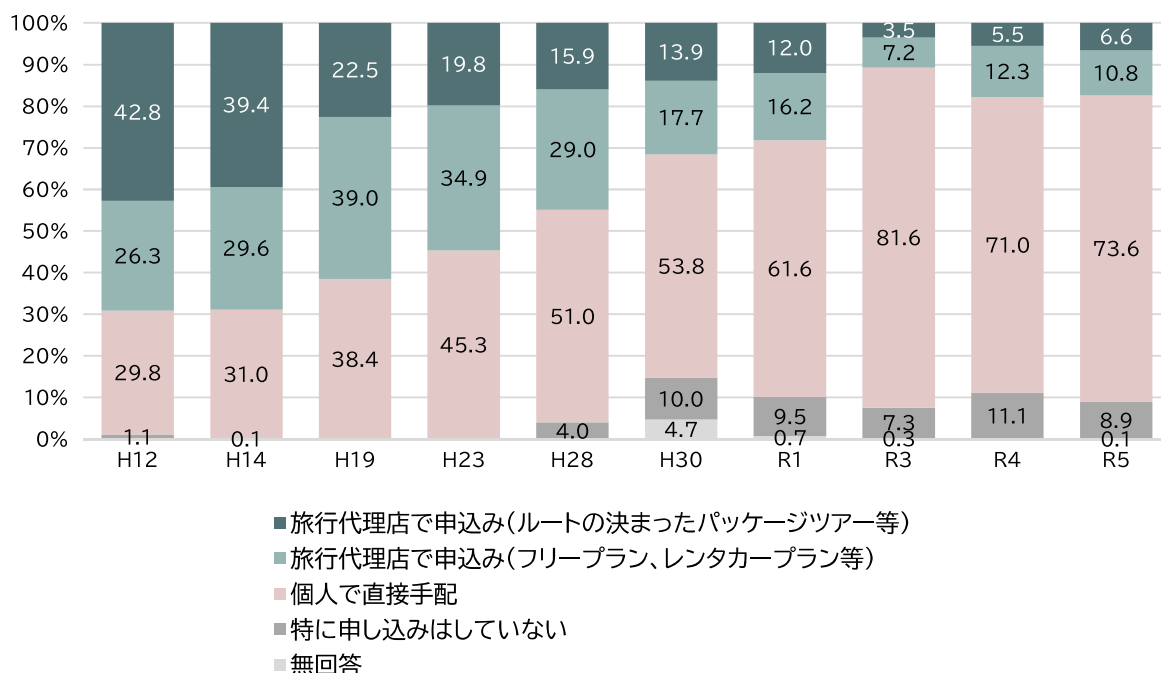
注記）令和5年（2023年）までは実測値、令和12年（2030年）は予測値

2 旅行形態の変化

道外観光客の北海道旅行における旅行形態の推移を見ると、この20年程度で個人で直接手配する形態が増加しています。

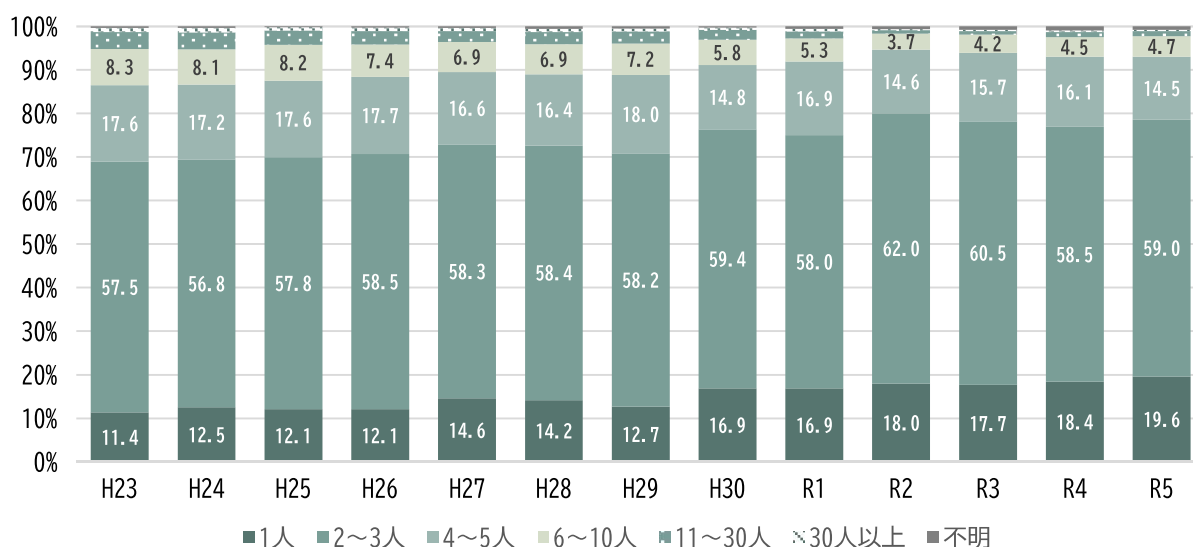
また、国内宿泊観光旅行の同行人数は減少傾向が続いており、1人や少人数グループでの旅行が増加しています。

北海道旅行における旅行代理店の利用状況（道外観光客）の推移



出典：「北海道観光客動態・満足度調査（北海道）」、「北海道来訪者満足度調査報告書（公益社団法人 北海道観光振興機構）」

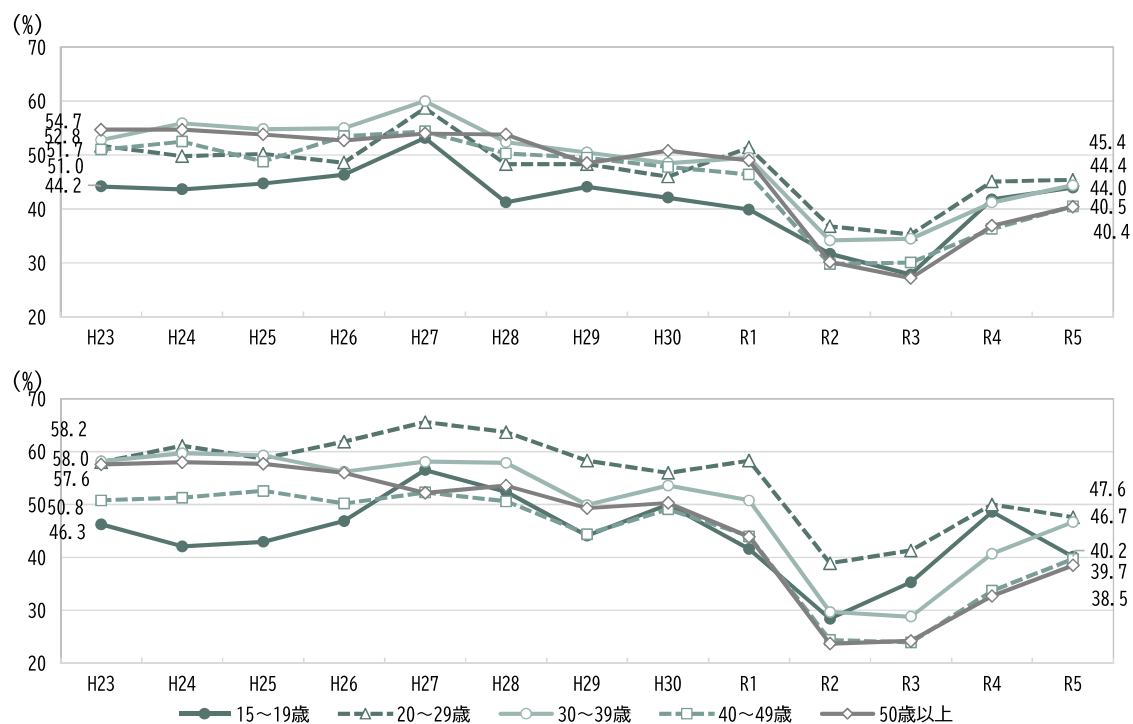
国内宿泊観光旅行の同行人数



出典：「令和6年度版観光の実態と志向（公益社団法人日本観光振興協会）」

年代別国内宿泊観光旅行の参加率は、平成23年度（2011年度）と令和5年度（2023年度）を比較すると、男女共に減少しています。

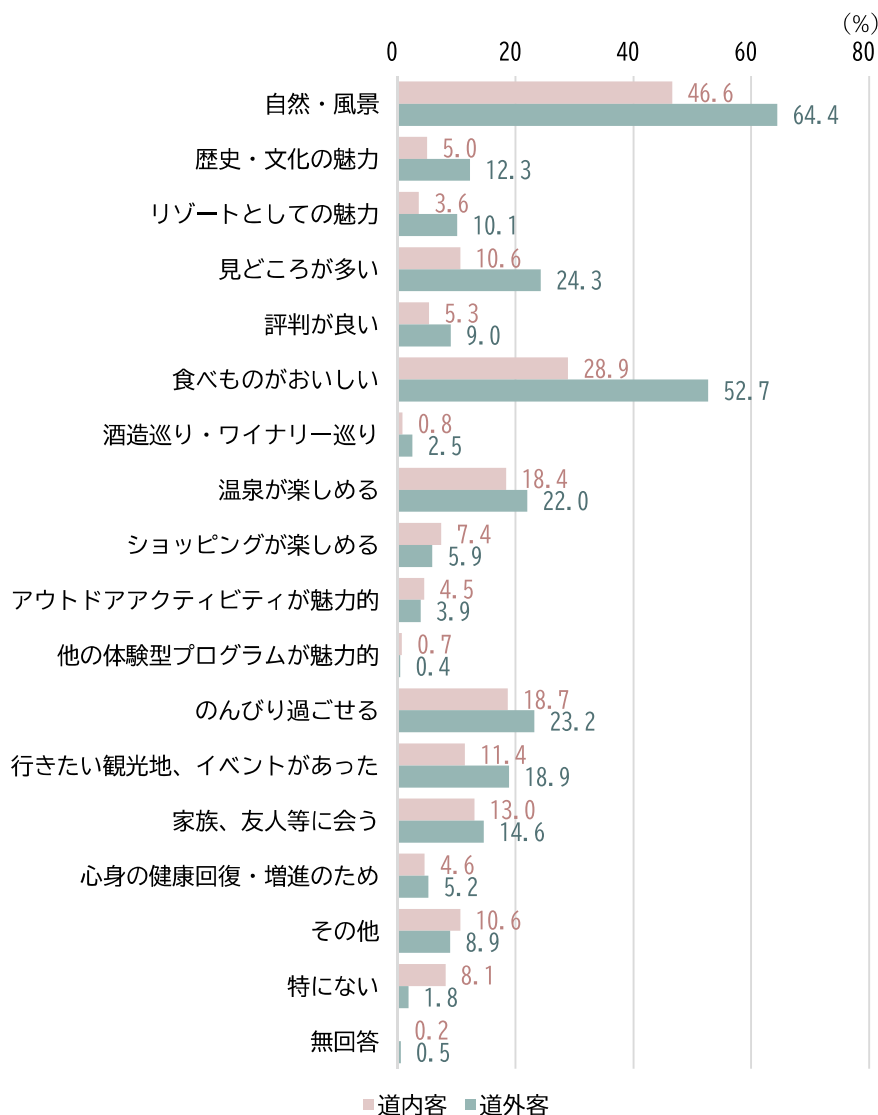
年代別国内宿泊観光旅行の参加率（上：男性、下：女性）（令和5年度（2023年度））



出典：「令和6年度版観光の実態と志向（公益社団法人日本観光振興協会）」

令和5年度（2023年度）における道外客が北海道旅行の観光・旅行先を選択するポイントとして、「自然・風景」が64.4%と最も多く、次いで、「食べものおいしい（52.7%）」、「見どころが多い（24.3%）」、「のんびり過ごせる（23.2%）」、「温泉が楽しめる（22.0%）」となっています。

北海道旅行の観光・旅行先の選択ポイント（令和5年度（2023年度））



出典：「北海道来訪者満足度調査報告書（公益社団法人 北海道観光振興機構）」

3 国内温泉地の状況

観光経済新聞社が実施している「にっぽんの温泉100選ランキング」によると、令和6年度(2024年度)では、草津温泉、道後温泉、下呂温泉が上位3位にランクインしています。

定山溪は、令和6年度(2024年度)の総合順位が37位であり、第1次構想が策定された平成26年度(2014年度)の順位と比較し、上昇しています。

温泉地を選んだ理由のうち、雰囲気順位の順位が令和6年度(2024年度)は28位であり、北海道内では上位にランクインしています。また、第1次構想策定時と比較して、順位が上昇していることから、第1次構想に基づき実施した取組により、温泉地らしい雰囲気が向上したことが考えられます。

国内温泉地のランキング

総合順位			雰囲気順位			温泉地	所在地
H26	R6	比較	H26	R6	比較		
1	1	—	1	1	—	草津	群馬県
7	2	↑	4	2	↑	道後	愛媛県
3	3	↑	10	3	↑	下呂	岐阜県
4	4	—	7	6	↑	別府八湯	大分県
5	5	—	9	9	—	有馬	兵庫県
6	6	—	8	8	—	登別	北海道
9	7	↑	6	10	↓	指宿	鹿児島県
8	8	—	3	5	↓	黒川	熊本
10	9	↑	5	4	↑	城崎	兵庫県
12	10	↑	11	11	—	箱根	神奈川県
2	11	↓	2	7	↓	由布院	大分県
...	...	...	...	...	...	...	...
33	22	↑	71	37	↑	十勝川	北海道
...	...	...	...	...	...	...	...
35	36	↓	49	42	↑	湯の川	北海道
...	...	...	...	...	...	...	...
53	37	↑	45	28	↑	定山溪	北海道
...	...	...	...	...	...	...	...
48	52	↓	43	44	↓	阿寒湖	北海道
...	...	...	...	...	...	...	...
50	55	↓	94	97	↓	川湯	北海道
...	...	...	...	...	...	...	...
87	56	↑	84	60	↑	層雲峡	北海道
...	...	...	...	...	...	...	...
78	58	↑	53	54	↓	ウトロ	北海道
...	...	...	...	...	...	...	...
66	59	↑	60	56	↑	洞爺湖	北海道

出典：「2014 第 28 回にっぽんの温泉 100 選（観光経済新聞）」、
「2024 第 38 回にっぽんの温泉 100 選（観光経済新聞）」

【参考】上位の温泉地の特徴

草津温泉（群馬県）

草津温泉街の中心に位置する湯畑の周りには、湯もみと踊りのショーが見られる「熱乃湯」、展望デッキや漫画堂等がある「裏草津」等、まちあるきできるスポットが点在しています。



道後温泉（愛媛県）

日本三古湯のひとつである道後温泉は、小説「坊ちゃん」の舞台でもあります。近年は、「アート&クラフト」に着目し、作品展やまちあるきを楽しめるプログラム等が開催されています。



下呂温泉（岐阜県）

日本三名泉の一つと称される下呂温泉は、飛騨川流域に位置し、3つの共同浴場で外湯が楽しめるほか、無料の足湯が点在しており、浴衣で湯めぐりやまちあるきを楽しむ姿が見られます。

